

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年1月26日～2017年2月1日)

平成 29 年(2017 年)2 月 3 日

H E A D L I N E S

<p>政治</p> <p>全国司法評議会, 政府作成の同評議会改革法案が違憲であるとの認識を表明 ワレサ元大統領の共産主義時代の秘密警察との協力疑惑に関する国家記憶院の発表 与党「法と正義」(PiS), ワルシャワの拡大に関する法案を提出 ポーランド・ウクライナ外相電話会談 シリア政権下で監禁されていたポーランド人の解放 NATO, ポーランドへの投資を増額 国営防衛産業グループは仏企業と潜水艦開発を合意 国防次官, 軍車両等による事故や渋滞に警鐘 デンマークの戦闘機がロシア機を対領空侵犯措置 国家安全保障局長官, NATO本部を訪問 ヴァシチコフスキ外相の米国によるイスラム教7ヶ国からの難民入国拒否に関する発言 シドゥウオ首相のアウシュビッツ解放72周年記念式典への出席 シュテルスキ大統領府国務次官の欧州ウクライナ・フォーラム出席 露, イスカンデルMミサイルを改修 米機甲旅団とポーランド軍の訓練開始式が開催 統合全般司令部, 2017年の訓練計画を公表 カチンスキ PiS「法と正義」党首のウクライナに関する発言 外国人取締法の改正案内容の発表 ポ艦船, NATO海軍演習に参加 参謀総長, ゴツウ大将からスラフスキ中將へ交代 スウェーデン海軍司令官, ポーランド訪問</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>税収増による経済効果見通し 2016年の経済成長率 2016年の平均賃金上昇率 経済成長率に関する副首相発言 プリペイド SIM 利用者の番号登録期限到来 2017年リース産業の見通し エネルギー省主催原子力産業セミナー 欧州委員会, ポーランドの大気汚染問題を議論する意向</p>	
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>	
<p style="text-align: center;">ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm</p>	

政 治

内政

全国司法評議会、政府作成の同評議会改革法案が違憲であるとの認識を表明【1月30日】

1月30日、全国司法評議会は会合を開催し、1月中旬にジョブプロ法務大臣が発表した同評議会の改革法案が違憲であるとの認識を表明した。政府による同改革法案は、全国司法評議会メンバーの裁判官の選出方法を、これまでの裁判官による選出から、下院による選出に変える点等を含んでいる。同評議会報道官は、改正法案は司法体系を政治化するものである旨述べた。また31日、最高裁判所も同改正法案に否定的な見解を示す意見書を発表した。

ワレサ元大統領の共産主義時代の秘密警察との協力疑惑に関する国家記憶院の発表【1月31日】

1月31日、国家記憶院(IPN)は、2015年11月に死去したキンチャク元首相の自宅から発見された文書の中で、1970年～76年におけるワレサ元大統領と治安機関との協力可能性を示す文書に関し、同文書にある署名がワレサ元大統領のものであるとの筆跡鑑定の結果を公表すると同時に、当時ワレサ元大統領がコードネーム「ボレク」として治安機関に情報提供を行い、その見返りに金銭を受領していた

との判断を示した。

これを受けて、ワレサ元大統領の弁護人は、ワレサ元大統領は(旧体制時の対秘密警察協力に関する)前歴裁判を2000年に受け、共産主義当局との協力がなかったことが証明されている、現在IPNが行っている捜査は元大統領に関連する文書の真偽を確かめるためのものであり、元大統領の前歴審査を改めて行うものではない、IPNは該当文書が本物であると結論づけたかのような記者会見を行ったが、文書の真偽の確認作業は始まったばかりである旨述べた。

与党「法と正義」(PiS)、ワルシャワの拡大に関する法案を提出【1月31日】

1月31日、与党「法と正義」(PiS)は、ワルシャワに32の近隣の郡を合併する法案を下院に提出した。これを受けて、グロンキエヴィチ=ヴァルツ・ワルシャワ市長(野党・市民プラットフォーム(PO)所属)は、右法案は(都市部では支持率が比較的 low、地方において支持率が高い)PiSがワルシャワを掌握することを目的とするものである旨述べ、法案策定の動きを批判した。

外交・安全保障

ポーランド・ウクライナ外相電話会談【1月25日】

1月25日、ヴァシチコフスキ外相は、前24日にウクライナで起きたポーランド人戦没者墓地への破壊行為に関し、クリムキン・ウクライナ外相と電話会談を行い、同事件及び9日に発生したフタ・ピェニャツカ記念碑の破壊行為に関する捜査結果の提示を要請した。

シリア政権下で監禁されていたポーランド人の解放【1月25日】

1月25日、ポーランド外務省は、2016年2月からシリア政権によって監禁されていたポーランド人の男性が解放されたことを発表した。本件は、EU・NATO諸国として唯一シリア政権と国交を維持しているチェコを通じて交渉が実施されていた。

NATO、ポーランドへの投資を増額【25日】

25日、国防省は、NATOの2017年ポーランドへの投資額が2.31億ズロチで、2016年に比較し3倍に増額し、同投資の内訳は、軍用飛行場及びNATO訓練施設の拡張、海軍用通信システムの整備等である旨発表した。

国営防衛産業グループは仏企業と潜水艦開発を合意【25日】

25日、国営防衛産業グループ(PGZ)のシフコ社長はフランスDCNS社ホゲロン副社長と潜水艦の開発協力協定に署名した。フランス側は、1番艦の建設をポーランド技術者の訓練と並行してDCNS社の施設で行い、2番艦以降はポーランド国内で建設する旨提案している。

国防次官、軍車両等による事故や渋滞に警鐘【26日】

26日、ファウコフスキ国防次官は、ポーランド国内において4月まで約7000人、夏には3万人の兵士が訓練に参加し、重車両も多く、演習場や道路が狭小のため事故や渋滞等の発生が予想されると警鐘を鳴らした。

デンマークの戦闘機がロシア機を対領空侵犯措置【26日】

26日、デンマークのF-16戦闘機はカーニングラード州から飛行したロシアのSu-24戦闘爆撃機及びAn-26輸送機に対して対領空侵犯措置を行った。

国家安全保障局長官、NATO本部を訪問【26-27

日]

26-27日、ソロフ国家安全保障局長は、NATO本部を訪問し、ゴテモエー副事務総長、パベル軍事委員会委員長等と会談を行い、政治、安全保障情勢、国防戦略等について議論するとともに、数年間の予定とされるバルト諸国及びポーランドへのNATO大隊の展開措置(EFP)の更なる継続について意見交換した。

ヴァシチコフスキ外相の米国によるイスラム教7ヶ国からの難民入国拒否に関する発言【1月27日】

1月27日、トランプ米大統領がイスラム教7カ国の難民及び国民に対する米国への入国を拒否する大統領令を出したことにに対し、29日、ヴァシチコフスキ外相は、トランプ大統領は全ての難民に対して扉を閉ざしたのではなく、イスラム教7カ国からの移民に対してのみ閉じたのである。選挙で選ばれた同大統領は大統領令を出す権限を有しており、また、国際法では難民の受け入れは義務付けられても、移民の受け入れ義務はない、移民政策は各政府が決定すべきであり、それが主権国家としての権利である旨述べた。

シドゥウォ首相のアウシュビッツ解放72周年記念式典への出席【1月27日】

1月27日、シドゥウォ首相は、アウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所のソ連軍による解放72周年記念式典に出席し、同強制収容所の歴史は語り続けなければならない事実であり、事実と善良をもって悪を克服するメッセージを未来の世代に送るのが我々の義務であると述べた。

シュチェルスキ大統領府国務次官の欧州ウクライナ・フォーラム出席【1月27日】

1月27日、シュチェルスキ大統領府国務次官は、ポーランド南東部のジェシユフ市の郊外に開催された欧州ウクライナ・フォーラムに出席し、ウクライナへの継続的な支援の必要性について述べた。

露、イスカデルMミサイルを改修【29日】

29日、ロシア国防省は、本年中にイスカデルMミサイルの指揮通信・管理機能等を改修する契約を行い、2020年までに製造予定と発表した。2018年には、同ミサイルを装備する2個旅団が新設される予定である。

米機甲旅団とポーランド軍の訓練開始式が開催【30日】

30日、米機甲旅団とポーランド軍の訓練開始式は、ドゥダ大統領を始め、マチェレヴィチ国防大臣、ジューンズ駐ポーランド米大使、米欧州軍副司令官、米欧州陸軍司令官等が参加し、ポーランド南西部の

ザガンにて開催された。

統合全般司令部、2017年の訓練計画を公表【30日】

30日、統合全般司令部は、2017年の訓練計画を公表し、6月にバルトトップス演習、9月のドラゴン演習等国内及び国外にて200回以上の訓練、演習を計画していると発表した。

カチンスキ PiS「法と正義」党首のウクライナに関する発言【1月30日】

1月30日、カチンスキ PiS 党首は、ジェシユフ市のラジオ局のインタビューを受け、ウクライナが第二次世界大戦時にポーランド人に残酷な罪を犯したウクライナ蜂起軍(UPA)の伝統に歴史的な正当性を与えることはポーランドにとって許せないことである、ポーランドが継続してウクライナの擁護者の役割を果たすべきかについてはウクライナ次第である旨述べた。

外国人取締法の改正案内容の発表【1月30日】

1月30日、ブワシチャク内務・行政大臣は、外国人取締法の改正案を発表し、同改正案は、国家の安全性を最優先し、不法入国を防ぎ、ポーランドが人身売買の密輸ルートとして使用されることへの対策を可能にする旨述べた。

ポ艦船、NATO海軍演習に参加【31日】

31日、ポーランド海軍コルベット艦コシュチュシコは、北海及びノルウェー沖にて2月2日から開催されるTG-17演習に参加するため、グディニア港を出港した。同演習には英国、デンマーク、オランダの艦船が参加する。

参謀総長、ゴツウ大将からスラフスキ中将へ交代【31日】

31日、参謀総長のミェチスワフ・ゴツウ大将は1月31日付で退任し、リシエク・スラフスキ中将が参謀総長に任命され、同日大統領官邸、参謀本部で交代式が開催された。

ゴツウ大将は2016年5月に任期が延長され、2019年まで3年間の任期があったが、任期終了前に交代することになった。また、2015年末にマチェレヴィチ国防大臣が同大臣に就任以降、ポーランド軍の28名の将官及び254名の大佐が定年前に離職した。

スウェーデン海軍司令官、ポーランド訪問【31日】

31日、統合全般司令部海軍検査官モデル少将は、ポーランド訪問中のヤンニクヴィツ・スウェーデン海軍司令官と会談し、2017~18年の海軍訓練計画等について意見交換を行った。

経 済

経済政策

税込増による経済効果見通し【30日】

モラヴィエツキ副首相は、公開セミナーの席上、税収は近年減少を続けているが、増税はせず、税の徴収強化により、2017年に400億ズロチ、2018年

に500億ズロチの経済効果が見込まれると発言した。また、歳入増加分を児童手当等の政策実施に充てるとした。

マクロ経済動向・統計

2016年の経済成長率【31日】

中央統計局(GUS)の見通しによれば、2016年の経済成長率は2.8%で、2015年の3.9%を下回る見込み。投資は対前年比5.5%減、消費は対前年比3.6%増の見込み。

方、炭鉱部門では平均賃金は下落した。

経済成長率に関する副首相発言【1日】

モラヴィエツキ副首相兼財務相兼開発相は、2017年の経済成長率は3%を超え、投資の伸びに支えられるであろうと記者会見で発言した。2016年第4四半期の投資は上向きになり始めており、購買担当者景況指数(PMI)も2年ぶりに良い数字になっているとした。

2016年の平均賃金上昇率【1日】

中央統計局(GUS)によれば、2016年の平均賃金上昇率は対前年比3.8%増となった。食品、貿易、自動車修理、IT等の職種で上昇が大きく、他

ポーランド産業動向

プリペイドSIM利用者の番号登録期限到来【1日】

2016年に成立した反テロ法により、ポーランド国内通信事業者の販売するプリペイド型SIMカードで通話をする場合は、2月1日までに事前に番号の登録が必要となり、登録されていないSIMカードは2日以降使用できなくなる。内務省は、登録済みSIMカードの売買を禁止する規制はないため、登録されたSIMカードが転売され、犯罪に用いられた場合には、登録者がその責任を負うと注意喚起し

ている。

2017年リース産業の見通し【31日】

ポーランドリース協会(ZPL)は、2017年のリース産業の売上げ規模は、前年比16.5%増の677億ズロチ規模になるとの見通しを発表した。同協会の専門家は、自動車に加え、EU基金による公共事業等のための建機類等のリースが拡大すると見込んでいる。

エネルギー・環境

エネルギー省主催原子力産業セミナー【30日】

エネルギー省主催による原子力産業セミナーが開催され、国内外の企業及び大使館員等が参加した。トフジェフスキ・エネルギー大臣は、原子力計画案の提示時期に関し、2017年第1四半期から同年半ばになるとの見通しを示し、原子力に関する意見は様々あるものの、国内の約300社の原子力関連事業者のビジネスチャンスを見逃すことはできないと述べた。セミナーでは仏、フィンランド等での原発建設に参加経験のある企業の紹介やエネルギー省幹部を交えたパネルディスカッションが行われた。

欧州委員会、ポーランドの大気汚染問題を議論する意向【1日】

シェフチョヴィチ欧州委員会副委員長は、ポーランドにおける大気汚染問題に関し、同政府に協力する意向と述べた。同副委員長はポーランドの大気汚染問題は、欧州委における低排出経済に関する議論の議題となるもので、共同で解決策を検討したいと述べた。他方、ブリュッセルを訪問中のモラヴィエツキ副首相は、欧州委員会の意向に対し、ポーランド政府は大気汚染問題を深刻な問題と受け止め、解決のために数億ズロチの支出を計画しており、EUからの圧力は必要ないと述べた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】展覧会「お茶と日本酒:日本の二つの飲み物」【11月19日(土)～2月12日(日)】

トルン旧市庁舎博物館にて、お茶と日本酒に関する展覧会が開催され、錦絵、茶碗をはじめとした茶道具、徳利、ぐい呑等の展示が行われています。

開催場所: トルン旧市庁舎博物館, Kamienica pod Gwiazda, ul. Rynek Staromiejski 35

詳細: <http://www.muzeum.torun.pl/>

【開催中】明治神宮写真展【2月1日(水)～2月14日(火)】

ワルシャワ・ワジェンキ公園屋外ギャラリーにて、明治神宮の写真展が開催されています。

開催場所: ワルシャワ・ワジェンキ公園屋外ギャラリー

Łazienki Królewskie Galeria Plenerowa, ul. Agrykoli

詳細: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/pl/wydarzenia/meiji-jingu>

【予定】日本・欧州国際文化交流事業「雅楽と武道の夕べ」【2月5日(土)及び7日(火)17時～】

ワルシャワ及びクラクフにて、明治神宮国際神道文化研究所による雅楽公演と武道演武が開催されます。

●クラクフ公演 2月5日(日) 17:00-19:00

会場: 日本美術技術博物館マンガ (Manggha Museum of Japanese Art and Technology)

[住所: ul. M. Konopnickiej 26, Krakow]

(先着順で行っていた入場券の配布は予定数に達したため終了しました)

●ワルシャワ公演 2月7日(火) 17:00-19:00

会場: 王立ワジェンキ公園内 オランジェリー (Royal Łazienki Museum, Stara Oranzeria)

[住所: ul. Agrykoli 1, Warsaw]

(先着順で行っていた入場券の配布は予定数に達したため終了しました)

【予定】木米真理恵ピアノリサイタル【2月12日(日)18時～】

ワルシャワにて、ピアニスト木米真理恵さんによる帰国記念リサイタルが開催されます。

チケット(全席指定) S 席 70 PLN, A 席 40 PLN

チケット:ワルシャワフィルハーモニー窓口 (ul. Sienkiewicza 10) または mariekiyonepianorecital@gmail.com
まで

開催場所: ワルシャワフィルハーモニー室内楽ホール, ul. Moniuszki 5

【予定】日本の浮世絵展「女: 美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催されます。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示される予定です。

開催場所: クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細: <http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

【予定】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催されます。

開催場所: ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細: <http://www.mnw.art.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp)(ご連絡は電子メールでお願いします。)